

令和3年度10月補正予算の主な事業

# 参 考 資 料

徳 島 県

# 目 次

	頁
1 「新型コロナ」対策	
(1) 感染急拡大から県民を守る緊急対策	1
2 「喫緊の課題」への対応	
(2) ⑧ 「とくしまマラソン」開催支援	2
(3) 災害時燃料供給体制確保事業	3

# 感染急拡大から県民を守る緊急対策



【令和3年度10月補正予算額 1,727,756千円】

1 目的 予想される新型コロナウイルスの次なる感染急拡大（第6波）に向けて、早急に「検査体制」の強化及び「医療提供体制」の確保を行い、即応体制を整えるとともに、新型コロナワクチンの追加接種（3回目）に向けた接種体制の確保を図る。

2 事業内容 (1) 検査体制の強化 157,756千円

- 「第6波」に向けて、感染拡大時でも速やかに検査が受けられるよう、検査関係機器を整備するとともに、濃厚接触者等への行政検査について、診療・検査協力医療機関と連携した体制を構築することにより、検査体制の強化を図る。

(2) 新型コロナワクチンの接種体制の確保 60,000千円

- 令和3年12月からの開始が予定されている新型コロナワクチンの追加接種を円滑に実施するため、必要となる広域調整や進捗管理といった市町村支援を行うとともに、引き続き、専門相談体制の確保、県民への広報を実施する。

(3) 軽症者等の療養体制の確保 1,510,000千円

- 「第6波」に即応するため、引き続き現行の宿泊療養施設を確保するとともに、サポート医師や看護師等による健康観察支援を実施するための体制を確保する。

# 新 「とくしまマラソン」 開催支援



【令和3年度10月補正予算額 80,000千円】

1 目的 本県の魅力を全国に発信するとともに、県民のスポーツ振興、にぎわい創出を図るため、新型コロナウイルスの感染症対策を講じた安全・安心の「とくしまマラソン」の開催を支援する。

2 事業内容 **(1) とくしまマラソン支援事業 30,000千円**

安全・安心への工夫を凝らし再開する「とくしまマラソン」の開催を支援することで、地域経済の活性化及び地域振興を推進する。

- ・密回避のため、定員を従来の1/3の「5,000人」に削減
- ・時間と場所を選ばない「オンラインマラソン」とのハイブリット開催
- ・「車いすロードレース(3.5kmコース)」開催

**(2) 新 みんなが安全・安心！なっ「とくしまマラソン」感染症対策支援事業 50,000千円**

ランナーをはじめ、全てのマラソン関係者が安心して参加できるよう、新型コロナウイルス感染症への万全の安全対策を講じる。

- ・日本陸連策定の「ロードレース再開についてのガイダンス」に沿った運営
- ・マスク、フェイスガード、携帯用消毒スプレーなど感染対策用品の配布
- ・参加ランナーに対して「ワクチン・検査パッケージ」を導入
- ・混雑緩和のため「送迎バス」の台数や「更衣テント、仮設トイレ」の必要数を確保
- ・沿道上に設置した大型ビジョンに事前公募した応援メッセージや動画を放映

担当：にぎわいづくり課

# 災害時燃料供給体制確保事業



【令和3年度10月補正予算額 25,630千円】

- 1 目的 東日本大震災の際、多くのガソリンスタンドが被災し、被災地においては、ドラム缶から手動ポンプを用いた給油が行われたが、緊急車両等への燃料供給が滞り、救助や復旧活動に支障をきたした。  
本県においても、南海トラフ巨大地震発生時、地震、津波、液状化等による被害が想定され、迅速な救助活動を実施するためには、燃料供給体制を確保することが重要である。  
このため、場所を選ばず、タンクローリーと直結することで燃料供給が可能となる「移動式燃料給油機」を配備する。

- 2 事業内容 **「移動式燃料給油機」の配備**  
国（資源エネルギー庁）の補助金を活用し、「移動式燃料給油機」を2台配備する。  
○「県立西部防災館」、「旧印刷センター」に配備  
○25,630千円（@12,815千円×2台）  
※令和2年度 2台配備済み（県立防災センター、県立南部防災館）  
  
<災害時の運用方法>  
協定を締結している「徳島県石油商業組合」や「徳島県トラック協会」と連携し、「移動式燃料給油機」を被災地へ輸送、タンクローリーと直結し、緊急車両等への燃料供給を実施する。

担当：とくしまゼロ作戦課